

2017年10月10日

「JPCOAR スキーマ (案)」に関する意見募集について (結果まとめ)

1 意見等募集の概要

1.1 目的

junii2を改訂し、新スキーマを策定するにあたり、スキーマ(案)を提示し、意見を募集する。大きな課題点があれば、最終確定前に反映する。

1.2 意見募集対象

JPCOARスキーマガイドライン (案)

【参考資料】

JPCOARスキーマ準拠メタデータサンプル集

junii2改訂の基本方針

メタデータスキーマに関する国際動向調査報告書

参考資料\_定義ドキュメント (JPCOAR項目一覧)

1.3 意見募集期間

2017年3月6日 (月) ～2017年3月24日 (金)

1.4 意見提出者

オープンアクセスリポジトリ協会 (JPCOAR) 参加機関、学術機関リポジトリデータベース (IRDB) にデータを提供している機関、機関リポジトリのメタデータを利用している機関、その他メタデータに関心のある組織 (民間含む) または個人

1.5 回答方法

Web回答フォームによる回答

1.6 周知方法

- ・ オープンアクセスリポジトリ推進協会 (JPCOAR) のWebサイトに掲載 (2017年3月3日)  
[https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/?page\\_id=54](https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/?page_id=54)
- ・ オープンアクセスリポジトリ推進協会 (JPCOAR) 会員機関向けメーリングリストによる周知 (2017年3月6日)

1.7 実施者

大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議  
機関リポジトリ推進委員会メタデータ検討タスクフォース

2 意見等募集結果の概要

2.1 回答数

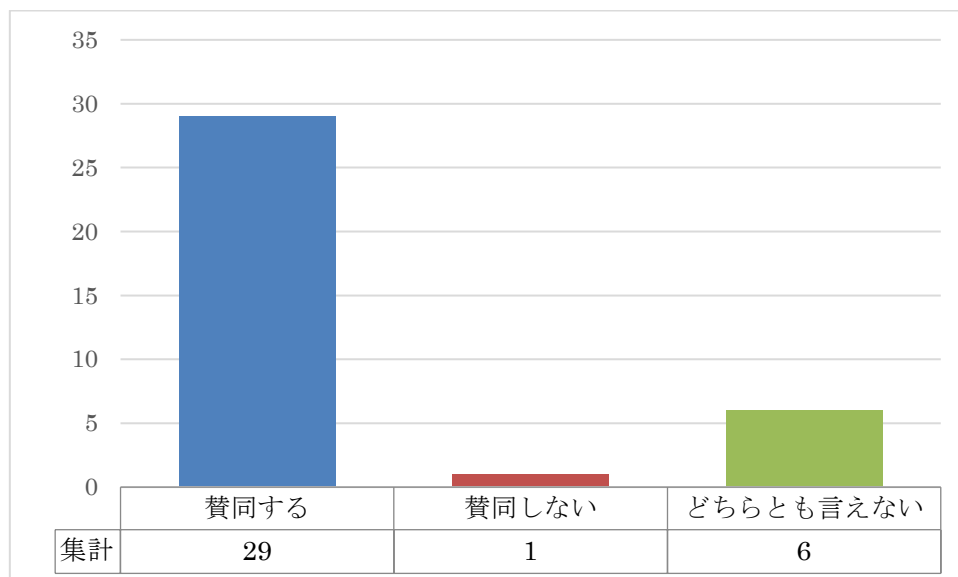
55件 (重複等を除いた有効回答は37件)

2.2 意見募集結果の総評

今回の「JPCOAR スキーマ (案)」に対して、2.3の内容から方向性としては賛同を得られたと判断し、いただいた詳細な意見についての反映を検討の上、2.4のとおり対応した。

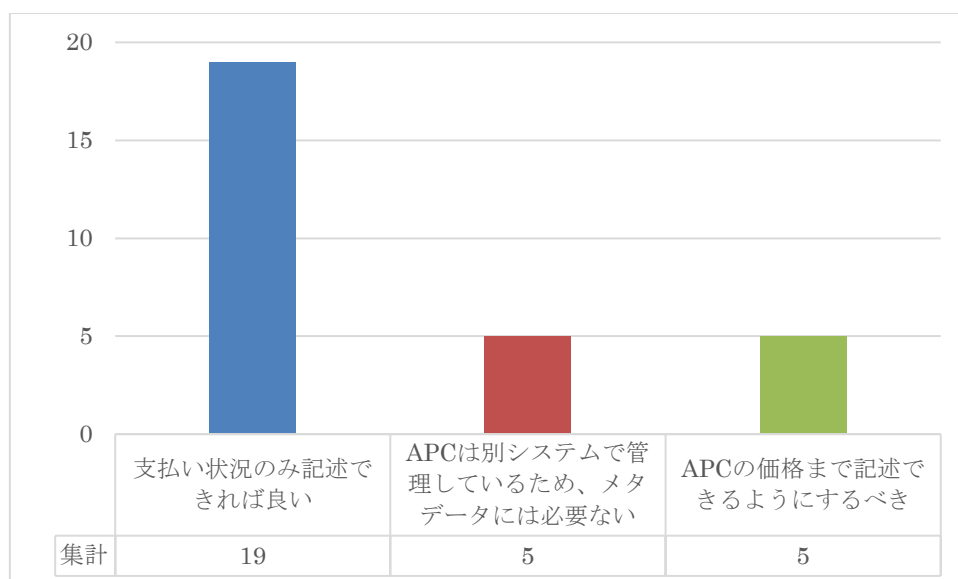
### 2.3 JPCOAR スキーマの改訂方針に関する回答

オープンサイエンスおよびオープンアクセス方針に対応したデータ要素の追加と整理について公的研究助成を受けた学術成果へのオープン化を促進するため、アクセス権 (jpcoar:accessRights)、権利情報 (dc:rights)、権利者情報 (jpcoar:rightsHolder)、APC (rioxterms:apc) 等を記述するための要素を追加・拡充しました。このような方向性について、ご意見をお聞かせください。

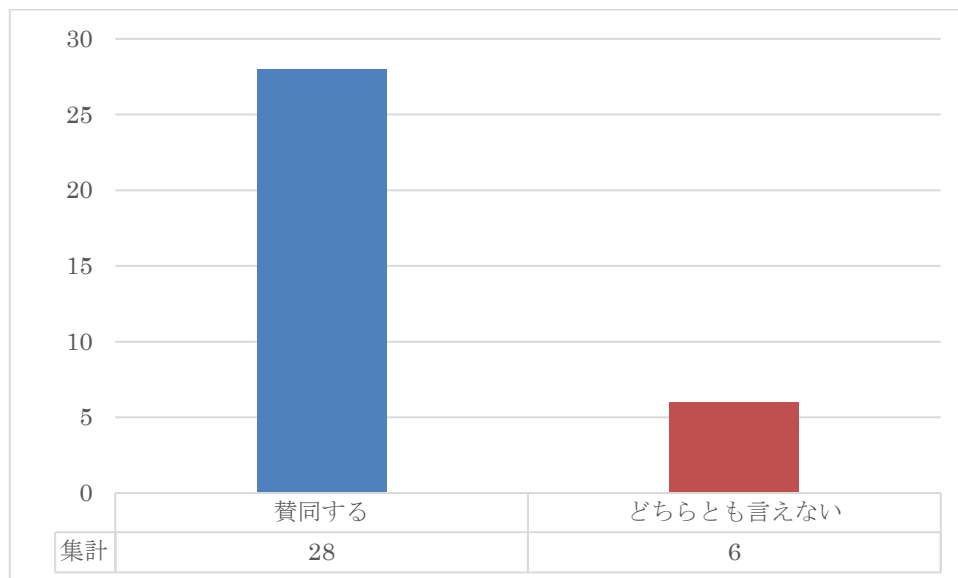


APCについて、以下のとおり支払い状況を記述できるようにする予定です。APCへの対応について、ご意見をお聞かせください。

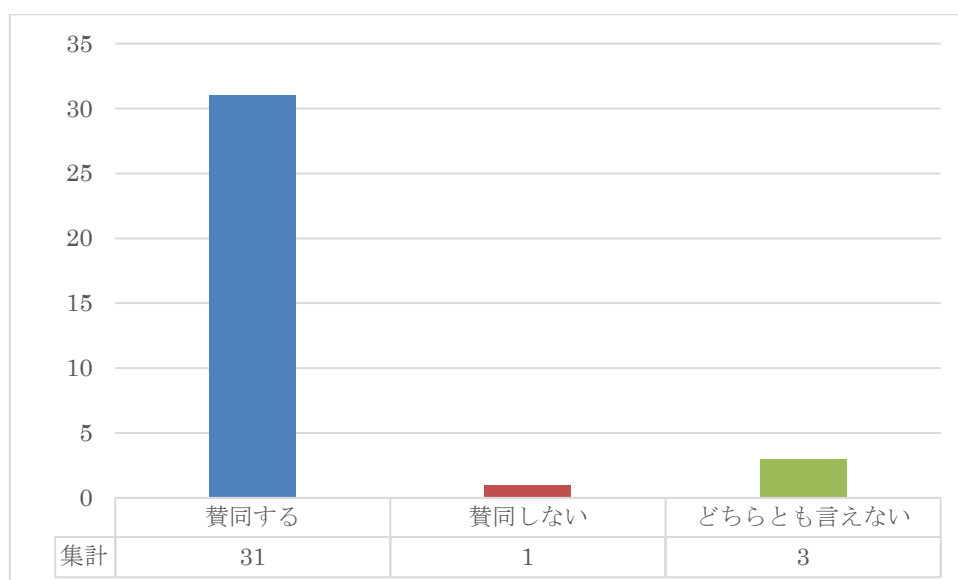
Paid : 支払済み / Partially waived : 一部免除 / Fully waived : 全て免除 / Not charged : 無料 / Not required : 不要 / Unknown : 不明



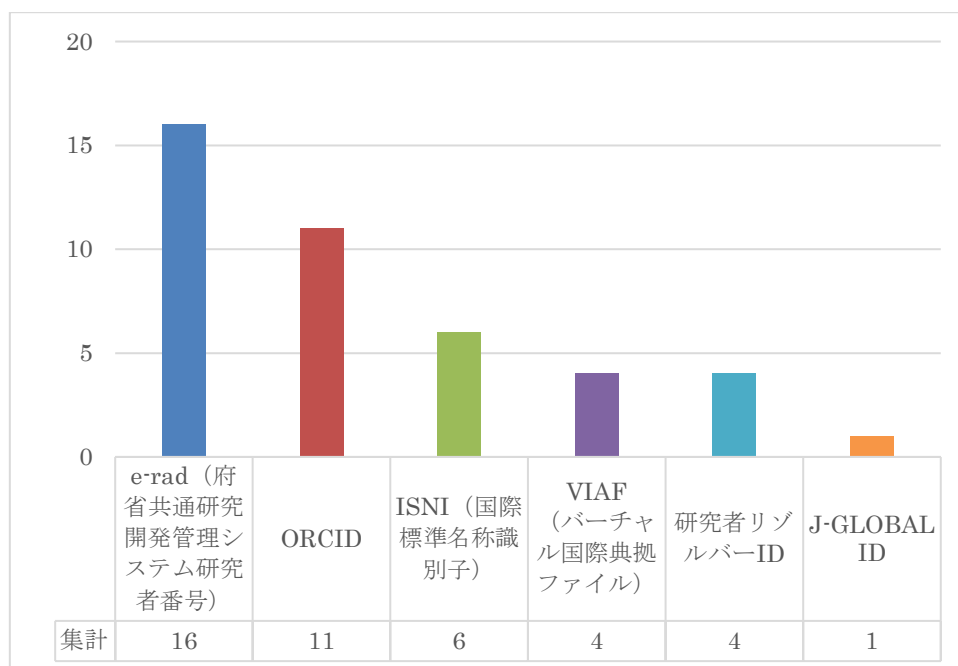
研究データ等のオープンサイエンスに対応するため、助成機関情報 (datacite:fundingReference)、バージョン情報 (datacite:version)、位置情報 (datacite:geolocation) 等を記述するための要素を追加・拡充しました。このような方向性について、ご意見をお聞かせください。



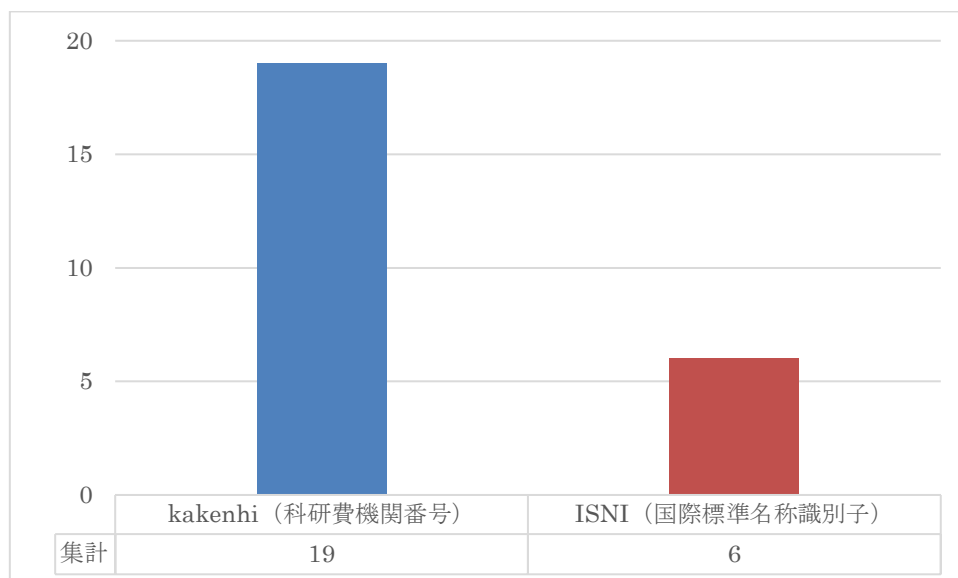
論文・研究者・機関の情報を正確に扱うために、資源識別子 (datacite:identifier)、関連識別子 (jpcoar:relatedIdentifier) を拡充し、著者・寄与者・機関の識別子を記述するための要素を追加しました。さらに、それらの情報をグルーピング (階層化) して記述できるようにしています。このような方向性について、ご意見をお聞かせください。



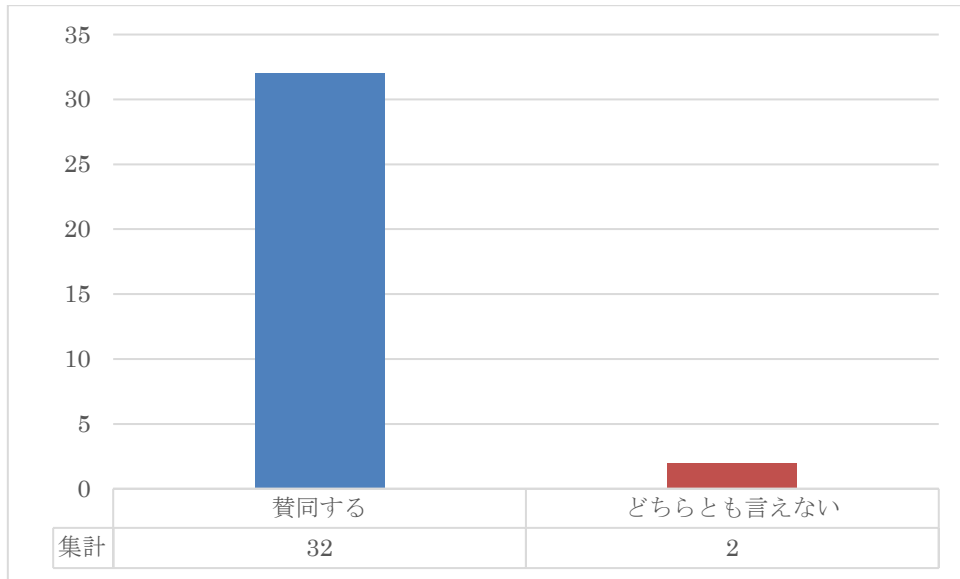
著者及び寄与者を正確に扱うために、識別子を記述するための要素を拡充しました。その語彙について、使用中または追加を希望するものがありまら、お聞かせください。



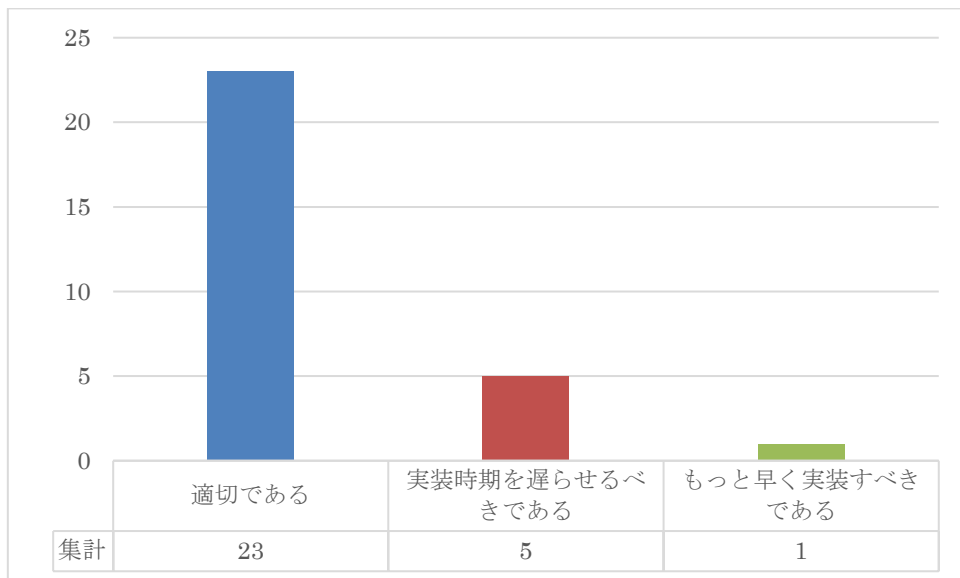
著者及び寄与者の所属機関を正確に扱うために、識別子を記述できる要素を拡充しました。その語彙について、使用中または追加を希望するものがありまら、お聞かせください。



システム改修等への影響を最小限に抑えるために、通信プロトコルは OAI-PMH を維持し、当面は junii2 でのハーベスティングも可能とする予定です。このような方向性について、ご意見をお聞かせください。



JPCOAR スキーマは平成 29 年度後半に学術機関リポジトリデータベース (IRDB) に実装し、平成 30 年度に JAIRO Cloud に実装する予定です。今後のスケジュールについて、ご意見をお聞かせください。



## 2.4 その他のご意見

いただいたご意見について検討し、ガイドラインの修正やよくある質問 (FAQ) の作成、データ移行の詳細資料の作成に活用させていただきました。

### ○ JPCOAR スキーマガイドラインに反映したもの (計 40 件のご意見)

主な修正:

- ・ 奥付タイトルや表紙タイトル等、同一言語のタイトルを複数記入したい場合があるため、「その他のタイトル」として「タイトル」とは独立した要素で継続される方が望ましい
  - ◇ その他のタイトル (dcterms:alternative) を入力可能な要素とし、タイトルと併せて記入方法を整理いたしました。
- ・ 資源タイプや作成者識別子等の語彙を追加してほしい
  - ◇ 資源タイプ (periodical、review article、conference proceedings、internal report) や作成者識別子 (NRID、AID) 等を追加いたしました。
- ・ 作成者や所属機関名等について、本文言語による記入となっているが、別言語の名称は記述できないのか
  - ◇ 作成者等の名称および所属機関名について、本文言語によらず入力可能となるように修正いたしました。
- ・ バージョン情報は必要だが、付帯する日付も表現できる方が望ましい
  - ◇ メタデータ単位の日付情報としては「12 日付」を設けているため、ファイル単位のバージョン情報に付帯する日付情報が記述できるよう、「35.4 日付」を追加いたしました。

### ○ よくある質問 (FAQ) に反映したもの

ご意見の多かった質問等については、よくある質問 (FAQ) としてまとめ、JPCOAR の Web サイトに順次掲載していく予定です。

### ○ 現状通りまたは今後の検討課題としたもの

- ・ 姓のカンマで区切りは不要ではないか
  - ◇ 主要なデータ連携先のガイドラインに合わせて、案の通り姓はカンマ区切りを採用することといたしました。
- ・ 23 雑誌識別子において NCID は重要なため必須とし、繰り返して ISSN などを記述することを推奨してほしい
  - ◇ NCID が付与されていないコンテンツも登録できるようにするため、NCID の必須化はおこなわず、当初案のとおり、ガイドラインに「ISSN、NCID がある場合はかならず記入すること。」と記述しました。
- ・ 寄与者の属性には contributorType が設定されているが、3 作成者の役割に関するタイプは設けないのか
  - ◇ 作成者の役割については、現状では参考となる標準的な統制語彙が策定されていない状況のため、今回の改訂では見送ることといたしました。
- ・ 寄与者の contributorType の語彙を増やしてほしい
  - ◇ contributorType の定義を参照した DataCite の語彙に、要望いただいた語彙に該当するものがなかったため、今回は追加を見送ることといたしました。今後、図書やデジタルアーカイブも含めた、より広範囲なコンテンツを対象としたメタデータフォーマットについて検討を進める中で、語彙の追加についても検討していく予定です。

今回は反映が難しかったご意見につきましても、今後の改善事項として参考にさせていただきます。意見募集にご協力いただき、誠にありがとうございました。